

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目		書名 新しい道徳 （発行者名 東書）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の教科の目 標との関わり		<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫〉</p> <p>○各教材の冒頭に学習テーマ、最後に学習テーマに対応した設問「考えてみよう！」が用意されている。一つの教材を通して価値を十分に深められる。</p> <p>〈人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫〉</p> <p>○巻頭に一年間の道徳の時間で学ぶ内容を説明するページがある。学ぶ内容を知ることによって一年間を通じた自身の成長を感じながら取り組める。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○学期ごとの自己評価用紙で振り返りが可能である。アクションのページでは、さまざまな視点から価値を深め、考えられるようになっている。</p>
特色	内容	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○「いじめ問題」「生命の尊厳」を重点的に扱い、各学年に配置されている。</p> <p>○複数の教材を組み合わせた「ユニット形式」で、主体的・対話的に考えられる。</p> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○「伝統と文化」「環境問題」「情報モラル」など現代的な課題に対応する教材が発達段階に応じて配置されており、段階を追って深く学習することができる。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○2時間扱いの教材では、問題の発見から話し合いまでの流れが明示されている。</p> <p>○各教材に設けられた「つぶやき」コーナーに考えを書きこみ、話し合い活動が主体的に行えるようになっている。</p>
	資料	<p>○全学年の巻末に補助教具として心情円とホワイトボードが用意され、考えを可視化したり、共有したりすることができる。</p> <p>○各学年の巻末「付録」では、5つの読み物資料、郷土を考える写真資料、1年生では小学校の読み物資料、2年生は読書、3年生は将来についての資料がある。</p> <p>○写真やイラストが多数取り入れられている。特に、「感動・畏敬の念」を扱う教材の写真は大きく掲載されている。</p>
	表記・表現	<p>○教材ごとに、学習指導要領の4つの視点をマークで表している。目次にも同じマークが示されているので、見通しを持って学習することができる。</p> <p>○全学年、ルビが振ってある漢字があったり、マンガ教材では口語体で表現されていたりと、中学生でも親しみやすく、抵抗なく教材を読み進めることができる。</p>
総括		<p>○全学年の巻頭に「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」が掲載してあり、班での話し合い活動の参考となる資料や道徳科としての授業のあり方を説明するページがある。また、教材ごとに学習テーマとテーマに迫る発問（考えてみよう！）が明示されていたり、学期ごとに振り返りができる自己評価のページを設けたりしている。教材と連携した「アクション」では、役割演技ができるような工夫がされていたり、さまざまな立場から価値が考えられるように設問が設定されたりしている。資料中の色使いや写真、イラストも豊富で大きく掲載されている。（AB判やや厚め）</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目		書名 輝け未来 （発行者名 学図）
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり		<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫〉</p> <p>○各教材の最初に内容項目と学習のテーマが書かれ、何を学習するのかが一目でわかるようになっている。教材の最後に設置された設問で価値を深めることができる。</p> <p>〈人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫〉</p> <p>○教材と併せて利用できる「心の扉」が設けられている。自分の考えを書きこむこともできるため、学習した価値を深め、自己を見つめるきっかけがつかれる。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○各教材の最後に設問「学びに向かうために」が設けられていたり、巻末の学びの記録や一年間の振り返りを利用したりすることで、他者の意見を取り入れながら、多面的・多角的に学ぶことができる。</p>
特色	内容	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○「自然」「命」「世界・文化」「人・社会」のつながりを重要視し、計画的に学習できるようになっている。教材にマークが示されているので分かりやすい。</p> <p>○いじめ問題に関わる教材は、「いじめを許さない」「いじめを起こさない」の両側面から考えられるようになっており、いじめを防止する心の育成ができる。</p> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○学年を追って「学びに向かうために」や「心の扉」の記載内容が深化している。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○各教材に掲載されている「学びに向かうために」で、考えるポイントや議論すべきポイントが明記されている。</p> <p>○問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れられる教材を多く扱っている。</p>
	資料	<p>○保護者向けのページが用意され、学びの記録や一年間の振り返りを家庭にも伝えられる形式になっている。家庭と連携した学習が可能である。</p> <p>○マンガ教材、新聞記事、図表などが教材の一部に使用されている。写真やイラストも多く取り入れられ、興味・関心を持って学習に取り組める。</p> <p>○さまざまな地域、人物の教材を採り上げ、巻末にはどの地域の教材かが分かるように日本地図が示されたり、人物の写真一覧が掲載されたりしている。</p>
	表記・表現	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示され、視点によって各ページが色分けされている。教材の横に主題とキーワードも示されている。</p> <p>○ルビが振られてあったり、難解な言葉や必要な情報は資料の下に詳しく記載されていたりするなど、読み進める上での配慮がなされている。</p>
総括		<p>○学期ごとに各教材で学んだことを振り返るページや巻末の1年間の学習を振り返るページが設けられている。家庭との連携を意識し、巻末に「保護者の方へ」のページが置かれている。内容項目と関連した「心の扉」や教材をより活用しやすくするための「学びに向かうために」があり、授業の幅が広がるように工夫されている。また、全体的に色鮮やかで多数のイラストや写真が使われている。 (AB判厚め)</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目	書名 とびだそう未来へ 中学道徳（発行者名 教育出版）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要 領の教科の目 標との関わり	<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫〉</p> <p>○各題材にねらいが明確に示されている。「学びの道しるべ」では、問題解決的な発展や主体的・対話的で深い学びに対応できる複数の発問を取捨選択できる。</p> <p>〈人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫〉</p> <p>○巻末には来年度の自分自身の目標を記述するページが用意されている。教師や保護者からコメント欄もあり、学習後の指針にできる。また、「都道府県にゆかりのある人物の言葉」として偉人の言葉が紹介されており、それらを通して自身の生き方をみつめることができる。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○全学年の巻末で1年間の学びの振り返りができる。さらに、内容項目ごとに自己評価ができるようになっている。また、中学生の実体験に沿った題材が多く、共感できる要素が多々盛り込まれている。</p>
特色	<p>内容</p> <p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○全学年で「いじめ」について取り上げており、繰り返し考えることで学びを深められる。また、同時に「いのち」に関する題材も多い。その他、ダウン症や臓器移植、死刑制度に関する教材も掲載されている。</p> <p>○立場を変えて考えさせることで、主体的で多面的多角的な学びへと導いている。</p> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○各学年の教育活動に即した題材の配列がされている。また、4つの視点で見えていくと1学年ではAの「自身に関すること」が多く扱われているが、学年が上がるにつれBやCの視点に関する教材が増えてくる。</p> <p>○自己肯定感を高める教材が各学年に含まれている。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○自分の気づきを記入できる欄が用意されている。</p> <p>○「やってみよう」では役割演技が行えるような発問が用意され、より体験的な学習ができるようになっている。</p>
	<p>資料</p> <p>○漫画や、絵本などを用いており、視覚的にも生徒の興味関心を引きやすい。</p> <p>○どの題材にも効果的な絵や挿絵が適度にちりばめられている。自然の美しさを表現するために全面が美しい写真と文章で構成されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○専門用語などには脚注があり、分かりやすい表記になっている。行ノンブルが工夫されており、注目すべき点がすぐに伝えられる。</p> <p>○四つの視点で色別に表記され、内容項目につながるねらいが表記されている。</p>
	<p>総括</p> <p>○現在活躍する様々な分野の人々に関する題材など、生徒の興味を引く教材が多い。また、「学びの道しるべ」では中心的発問が用意され、話し合い活動の方向性が示されている。</p> <p style="text-align: right;">(B5判)</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目	書名 中学道徳 きみがいちばんひかるとき(発行者名 光村図書)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要 領の教科の目 標との関わり	<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫〉</p> <p>○「学びのテーマ」で、ねらいを明示して課題を意識させている。また道徳的価値を高めるための問いや、振り返りを促す問いが用意されている。「私の気づき」として感想を記入することで自己との対話がしっかりとできる。</p> <p>〈人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫〉</p> <p>○「学びのテーマ」には、立場を変えて物事を考えさせる発問が用意されており、多面的多角的な深い学びが展開できる。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○巻末にはシーズンごとに自己の考えを記入する欄があり、自身の成長が実感できる。また、ソーシャルスキルトレーニングなども取り入れられ、日々の道徳性に繋がる学びも用意されている。</p>
特色	<p>内容</p> <p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○さまざまな観点から「いのち」について考え、「いじめ」問題を扱う教材を多く取り入れている。その他にも「情報モラル」「共生」「地域」に関する教材を扱っている。</p> <p>○教材と関連したコラムやソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、より主体的に、より多面多角的に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○各学年の教育課程に合わせた内容で1年間の流れが作られている。より深い学びになるように構成が工夫されている。</p> <p>○巻末には様々な分野の著名人から生徒へのメッセージがあり、夢や希望、勇気を与えるものになっている。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○すべての教材にねらいにせまる中心発問があり、話し合い活動の柱ができています。</p>
	<p>資料</p> <p>○実際の人物の写真や題材に直接関連する写真が生徒の関心をひく。</p> <p>○漫画や絵本、イラスト、グラフなど、題材に合わせた資料が盛り込まれている。中でも人気絵本作家の題材は興味関心が高いと考えられる。</p>
	<p>表記 ・ 表現</p> <p>○仮名がふられ、難解な言葉には脚注が記載されている。</p> <p>○目次は内容項目に関連させながら季節ごとのくくりで示されており、教材の冒頭には4つの視点がわかるようマークがついている。巻末には内容項目の一覧が記載されている。</p>
総括	<p>○「学びのテーマ」で、ねらいにせまる発問や視点を変えて考えさせる発問があり、話し合い活動が充実できる。中学生の興味関心の高い教材が多数掲載されている。全学年でソーシャルスキルトレーニングが取り入れられ、ねらいの深まりが期待できる。</p> <p style="text-align: right;">(B5判やや厚め)</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目	書名 あすを生きる （発行者名 日文）
教育基本法、 学校教育法の 下の学習指導 要領の教科の 目標との関 わり	<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉</p> <p>○教材と道徳ノートの2冊構成で、道徳的価値の理解を深め、考え論議する学びが実現できるように工夫している。</p> <p>〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉</p> <p>○各教材末にある「考えてみよう」「自分に+1」を活用することで、問題解決的な学習や自己の生き方を考える学習につなげることができる。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○コラム「プラットフォーム」を活用することで、学習した内容を広げ、考えや視野を広げられる。また、道徳ノートの活用により、思考の変化を継続的に記録することで、自分の成長や心の変容を実感しやすいように工夫されている。</p>
特色	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○いじめと向き合う教材や、安全教育、情報モラルなどに関する教材が充実しており、自己を見つめながら、気づき、深める学習展開ができる。</p> <p>〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○「生命の尊さ」を重点とした教材が全学年で充実している。また、学校生活との関連が配慮され、1年間の流れを重視した教材配置になっている。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○「考えてみよう」では、議論するための発問例が挙げられている。また、道徳ノートでは、多様な話し合いに対応できるような記入欄が設けられている。</p> <p>資料</p> <p>○著者の写真や、主な登場人物のイラストが見出しに描かれている。また、各教材には、人物の表情豊かな明るくきれいな挿絵や、写真などが多数用いられ、内容が理解しやすく、教材への関心の高まりが期待できる。</p> <p>○別冊の「道徳ノート」には、「考えてみよう」「自分に+1」の記入欄と振り返り（自己評価）欄があり、自己を見つめながら学びの深まりを実感することができる。</p> <p>表記・表現</p> <p>○教材と内容項目の関係が、目次と内容項目別教材一覧表に分かりやすく色分けされている。また一覧表には、ページ、テーマ、手引きなどの欄があり、指導する際により活用しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○漢字は当該学年までの配当漢字を使用している。配当外漢字や固有名詞には、ルビが付されており、難解な言葉には、脚注で解説がある。</p>
総括	<p>○生徒が主体的に考えられる問題解決的な学習方法や、体験を生かして学ぶ体験的な活動など、多様な教材を扱っている。導入からまとめまで、生徒の思考の流れに沿った発問が設定されており、生徒の考えを引き出し、議論が活発に展開されるように工夫されている。各学年に別冊の「道徳ノート」があり、生徒の成長の記録となるとともに、指導や評価に活用することができる。また、保護者記入欄もあり、家庭との連携を大切にしている。</p> <p style="text-align: right;">(B5判厚め)</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目	書名 明日への扉 （発行者名 学研）
教育基本法、 学校教育法の 下の学習指導 要領の教科の 目標との関 わり	<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉</p> <p>○プラス思考・未来志向を培うために、「読みたくなる。考えたくなる。話し合いたくなる」をコンセプトとして、深く考え、議論できるように工夫している。特定の価値観を押しつけないよう、主題名などを表記せず、生徒が自ら主体的に課題を見つけ、解決する資質や能力を培うことを重視している。</p> <p>〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉</p> <p>○先人や現在活躍している人物の考え方や生き方を多く取り上げ、偉人の生き方を学ぶとともに、自己の生き方について考えを深めることができる。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○特設ページ「深めよう」では、振り返りや自分の考えを深めるための書き込みスペースがあり、道徳性を育む上での新たな一歩を踏み出すことをねらいとしている。</p>
特色	<p>内容</p> <p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○いのちの教育を全学年の重点テーマとし、「生命の尊さ」を多面的多角的に考えることができる。また、現代の社会現象や身近な課題に即した「情報モラル」に関する教材が掲載されている。</p> <p>〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○勤労奉仕、環境問題、伝統文化の継承など、中学生の心情や発達段階に即した内容の教材が掲載されている。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○話し合い、磨き合うことを重視した「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」には、視野を広げながら有意義な議論をするために、自分の考えを書き込むスペースがあり、主体的、対話的で深い学びを実現するための工夫が見られる。</p>
	<p>資料</p> <p>○A4サイズの教科書のため、写真や挿絵が大きく掲載され、視覚的にも学習への意欲をもたせている。</p> <p>○全学年にわたり、地域に関連した教材が掲載されている。</p> <p>○巻末に1年間の学びを振り返るページがあり、自分の成長を感じることができる。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○目次の次項に「よりよく生きるための22の鍵」と称され、全教材が分類されている。</p> <p>○生徒の発達段階に応じて、文字の大きさ、字体や行間に配慮している。また、漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができる。また、活字は見やすい書体（ユニバーサルフォント）をしている。</p>
総括	<p>○生徒の問題意識を尊重し、自ら主体的に課題を見つけ、解決する資質や能力を培うことを重視した教材の構成、展開にしている。挿絵や写真、図版などを活用することで学びの深まりをねらいとし、生徒の感性や学習意欲に訴えるかけるA4判の教科書である。レイアウトの工夫により、学習展開を考慮して、余白を適度に確保したゆとりのある紙面構成になっており、見やすく、わかりやすいカラーユニバーサルデザインに対応している。</p> <p style="text-align: right;">(A4判)</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目		書名 自分を考える （発行者名 廣あかつき）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要 領の教科の目 標との関わり		<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫〉</p> <p>○教材・道徳ノートの2冊構成となっている。教材ごとに、主題、「考える・話し合う」があり、学習の道筋を示したり、学習を広げたり、深めたりできるようにしている。道徳ノートは内容項目別に構成されており、道徳的価値が明確になっている。</p> <p>〈人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫〉</p> <p>○巻頭に道徳の授業の学び方を紹介するページと詩があり、生徒が問題意識をもって取り組めるようにしている。すべての教材に先人や著名人等の言葉を掲載することで、人間としての生き方について考えを深めることができるようにしている。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○道徳ノートに生徒が考えたことや感じたことを記述したり、記述したことを振り返ったりすることで、成長を実感したり課題や目標を見出したりすることができる。</p>
特色	内容	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○「生命尊重」に重点を置き、年間3時間を配当している。また、安全教育、防犯・防災、情報モラルについて考えるなどの特集のページを設けている。</p> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○各学年の発達段階に即した、人間のよさを感じることでできる教材を掲載することで、道徳的諸価値について深く思考することができるようにしている。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○教材ごとに「考える・話し合う」を配置し、生徒が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできるようにしている。さらに「考えを広げる・深める」の問いがあり、生徒がさらに考えたくなり充実した学習ができるようにしている。</p> <p>○道徳ノートに書くことで自分の考えをより明確にでき、充実した議論ができるようにしている。</p>
	資料	<p>○先人の伝記やさまざまなジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手を扱った教材が掲載されている。</p> <p>○どの教材にも学習内容に合わせた挿絵や写真を掲載している。</p>
	表記・表現	<p>○教材ごとに学習指導要領の四つの視点を色分けして示している。また、道徳ノートのページも示している。</p> <p>○配当漢字及び、未習の漢字について全てにルビが付されている。</p>
総括		<p>○教材・道徳ノートの2冊構成で、教材ごとに主題と「考える・話し合う」があり、学習の道筋を示したり、学習を広げたり、深めたりできる。道徳ノートにある「心のしおり」では、教材別に学習の自己評価や自己の振り返りができる。学習意欲を喚起するよう写真や図、グラフも掲載している。また、内容項目ごとにも自分の在り方、生き方を振り返って評価することができるようにしている。 (AB判特厚)</p>

研究調査報告書

教科名（特別の教科 道徳）

項目		書名	生き方を見つめる	（発行者名 日本教科書）
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり		<p>〈道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫〉</p> <p>○生徒の発達段階を考慮し、日常生活における身近な教材を多く掲載することにより道徳的問題や判断の結果を自分自身のことと捉え、道徳的価値の理解がより深まるようにしている。</p> <p>〈人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫〉</p> <p>○先人や現在活躍している人物の考え方や生き方を取り上げ、自己の生き方への考えを深められるようにしている。</p> <p>〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <p>○巻末の振り返りシートを活用し、学習の振り返りを行うことで、道徳性をより育み、生徒自らが成長を実感できるようにしている。</p>		
特色	内容	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○防災・安全教育、キャリア教育、人権・福祉教育、伝統文化、国際教育など、現代的な課題が計画的に掲載されている。</p> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○偉人を題材とした教材やスポーツ界で活躍する人物を題材とした生きる喜びや勇気を与える題材を掲載している。</p> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○教材ごとに、生徒が課題を意識できるようにするための問いが設けてあり、主体的に学びに向かうことができるようにしている。</p> <p>○答えが1つではない道徳的な課題を提示することで、一人ひとりの生徒が自分自身の問題と捉えられるようにしている。</p>		
	資料	<p>○発達の段階を考慮しながら、学年間の繋がりも重視した教材を掲載している。また、他教科との繋がりを考慮した教材を多く採り上げている。</p> <p>○どの教材にも学習内容に合わせた挿絵や写真を掲載している。</p>		
	表記表現	<p>○教材と内容項目の関係が、目次と学習指導要領対応表で色分けされ、分かりやすく工夫されている。</p> <p>○学習指導要領の4つの視点ごとに教材が配列されている。</p>		
総括		<p>○オリエンテーションのページでは、道徳科のめあてや学習の流れが分かりやすく提示されている。教材ごとに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を配置している。主体的な学びができるように問いを明示し、生徒が課題を意識して学習できるようにしている。巻末の自己評価シートでは、生徒は自分の学びの変化や成長を振り返ることができるようになっている。</p> <p style="text-align: right;">（B5判最軽量）</p>		